

兵庫県高砂市でミヤマカラスアゲハを初記録

島崎正美・島崎能子

筆者らは2026年4月24日、高砂市曾根町の日笠山(62m)の中腹部にあるヤマツツジで、アゲハチョウ、キアゲハ、クロアゲハに混じって吸蜜するミヤマカラスアゲハ(以下、本種)の♀を観察し、そのビデオ撮影記録をとった(図1-2)。「兵庫県の蝶」(広畑・近藤, 2007)によれば、近隣の姫路市や加古川市には本種の記録があるが高砂市は未記録となっているため、高砂市での初記録として報告する。

本種は、ヤマツツジの花から離れて飛び去って姿が見えなくなってもしばらくすると舞い戻るなど、ときにはアゲハチョウに絡まれたりしながら吸蜜を繰り返していて、その様子を13時45分から14時30分まで継続観察した。観察できたのはこの個体だけで新たな個体は飛来しなかった。

本種については2016年4月26日に加古川市平荘町黒岩山(132m)の山頂部で確認しているが、加古川市でも本種に出会える機会は多くない。食樹として考えられるのはカラスザンショウだが、高砂市においては筆者らの知る限り、阿弥陀町の市の池公園内で確認できた成木1本のみである。今回観察した本種がこのカラスザンショウで発生したかどうかは不明だが、今後、市の池公園での本種の発生に注意するとともに食樹の分布調査を進める。

本報告に際し、兵庫県の蝶に関する詳細なデータベースをもとに初記録だにご教示くださった近藤伸一氏と、2007年以降を含む高砂市における情報を提供してくださった東輝弥氏に感謝する。

○引用文献

広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶. 330pp. 岩峰社, 東京

(Masami SHIMAZAKI 兵庫県高砂市)

(Yoshiko SHIMAZAKI 兵庫県高砂市)

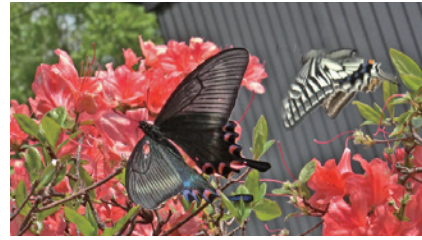


図1.



図2.